



第24回

三遠南信サミット 2017 in 南信州

【テーマ】“みち”がはぐくむ三遠南信の未来

平成29年 **2月15日** 水

会場

飯田文化会館
シルクホテル

資

料

集

目 次

1 基調講演

「地域創生のために我々は何をすべきか—第2次国土形成計画の推進に向けて—」

学校法人梅村学園 常任理事・学術顧問 国土審議会 会長 奥野 信宏 …… 1

2 トークセッション

「三遠南信のトップリーダーが語る地域の未来」登壇者プロフィール …… 3

3 分科会

(1) 「道」分科会

① 「交通ネットワークを生かしたまちづくり」 …… 7

② 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト「道」政策の基本方針1 …… 17

(2) 「技」分科会

① 「地域産業のプラットフォームを目指して」 …… 21

② 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト「技」政策の基本方針2 …… 29

(3) 「風土」分科会

① 「日本遺産申請に向けた取り組み」 …… 31

② 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト「風土」政策の基本方針3 …… 33

(4) 「山・住」合同分科会

① 「協力隊時代と現在」 …… 35

② 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト「山」政策の基本方針4 …… 42

③ 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト「住」政策の基本方針5 …… 43

4 参考資料

三遠南信エリアマップ …… 44

基調講演資料

地域創生のために我々は何をすべきか —第2次国土形成計画の推進に向けて—

学校法人梅村学園 常任理事・学術顧問
国土審議会 会長
奥野 信宏

【講師プロフィール】（敬称略）

昭和 20 年生。学校法人梅村学園理事・中京大学学術顧問、公共経済学専攻、経済学博士。京大院修士終了後、名大経済学部教授・学部長、同大副総長等を経て現職。国土審議会会長・計画推進部会長・企画委員会委員長、内閣府共助社会づくり懇談会座長、内閣官房ナショナルレジリエンス懇談会委員等。著書「公共の役割は何か」（岩波書店,2006 年）、「地域は「自立」できるか」（同,08 年）、「公共経済学第3版」（同,08 年）、「新しい公共を担う人びと」（栗田氏と共著,同,10 年）、「都市に生きる新しい公共」（同,12 年）他。

資料は別冊

トークセッション資料

「三遠南信のトップリーダーが語る 地域の未来」

登壇者プロフィール（敬称略）

○コーディネーター

奥野 信宏 学校法人梅村学園常任理事・学術顧問 国土審議会会長

○発言者（順不同）

川井 伸一 愛知大学理事長・学長

1975 年東京大学教養学部教養学科を卒業後、1983 年東京大学大学院国際関係論博士課程単位取得退学。その後(財)日本国際問題研究所研究員、在中国日本大使館勤務を経て、1992 年より愛知大学経営学部にて勤務。2009 年経営学部長・理事、2011 年愛知大学副学長・常務理事、2015 年 11 月より現職。

大貝 彰 豊橋技術科学大学理事・副学長

1979 年九州大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻修了、1983 年より九州大学工学部助手、1993 年より豊橋技術科学大学助教授、2004 年同大学工学部教授を経て、2014 年 4 月より現在まで同大学理事・副学長を務める。この間、飯田市、豊橋市、豊川市等の都市計画審議会委員を歴任するなど、主にまちづくりに関する業務に多数携わる。

高松 彰充 学校法人高松学園理事長、飯田女子短期大学学長

大谷大学大学院真宗学専攻を修了後、学校法人高松学園 飯田女子高等学校教諭、伊那西高等学校校長、飯田女子高等学校校長、を歴任。現在、学校法人高松学園理事長、飯田女子短期大学学長、宗教法人善勝寺住職。

神野 吾郎 豊橋商工会議所会頭／SENA 副会長

1983 年慶應義塾大学商学部を卒業後、三井信託銀行株式会社を経て、1990 年中部ガス株式会社に入社。2002 年 5 月株式会社サーラコーポレーション設立と同時に代表取締役社長に就任、サーラグループ各社の取締役を兼務。2016 年 11 月より豊橋商工会議所会頭ならびに東三河広域経済連合会会長（現在）。

大須賀 正孝 浜松商工会議所会頭／SENA 副会長

浜松市(旧 浜北市)出身。1971 年浜松協同運送株式会社〔現株式会社ハマキョウレックス〕を創業、代表取締役社長就任後、2007 年同社代表取締役会長就任（現在に至る）。2005 年(一社)静岡県トラック協会会長、2012 年(公社)全日本トラック協会副会長 等に就任。2013 年 11 月浜松商工会議所会頭に就任（現在 2 期目）。

森山 和幸 飯田信用金庫理事長

1966 年 4 月飯田信用金庫に入庫。1996 年 4 月切石支店支店長に就任。高森支店、大島支店支店長を経て、2004 年 4 月人事部部長に就任。同年 6 月常勤理事に就任。2007 年 6 月常務理事に就任。2010 年 6 月専務理事に就任。2013 年 6 月理事長に就任。

永嶺 誠一 愛知・長野県境域開発協議会会長 天龍村長

1985 年法政大学法学部卒業後、天龍村役場へ入庁。総務課企画財政係長、課長補佐などを経て 2010 年副村長に就任。2016 年の天龍村長選挙により初当選。同年、愛知・長野県境域開発協議会会長に就任、現在に至る。

鈴木 康友 浜松市長／SENA 会長

1980 年慶應義塾大学法学部を卒業後、松下政経塾に入塾（第 1 期生）し 1985 年に同塾卒塾。ステラプランニング代表取締役を経て、2000 年に衆議院議員に初当選（2 期）。この間、経済産業委員会理事等を歴任。2007 年 4 月浜松市長に就任（現在 3 期目）。2011 年 12 月から指定都市市長会副会長。

佐原 光一 豊橋市長／SENA 副会長

1976 年東京大学工学部を卒業後、同年運輸省港湾局（現国土交通省）入省。外務省出向やパナマ共和国政府派遣を経て、2008 年に国土交通省退職。この間、国土交通省中部地方整備局副局長を歴任。同年 11 月豊橋市長に就任（現在 3 期目）。2015 年 1 月から東三河広域連合長（現在 2 期目）。

牧野 光朗 飯田市長／SENA 副会長

早稲田大学政治経済学部卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。同フランクフルト首席駐在員、大分事務所長を経て、2004 年飯田市長就任、四期目。現在、南信州広域連合長、長野県市長会副会長、全国市長会経済委員長、2015 年より経済財政諮問会議の専門調査会である経済・財政一体改革推進委員会委員。



分科会

資 料

第24回 三遠南信サミット2017 in 南信州 「道」分科会



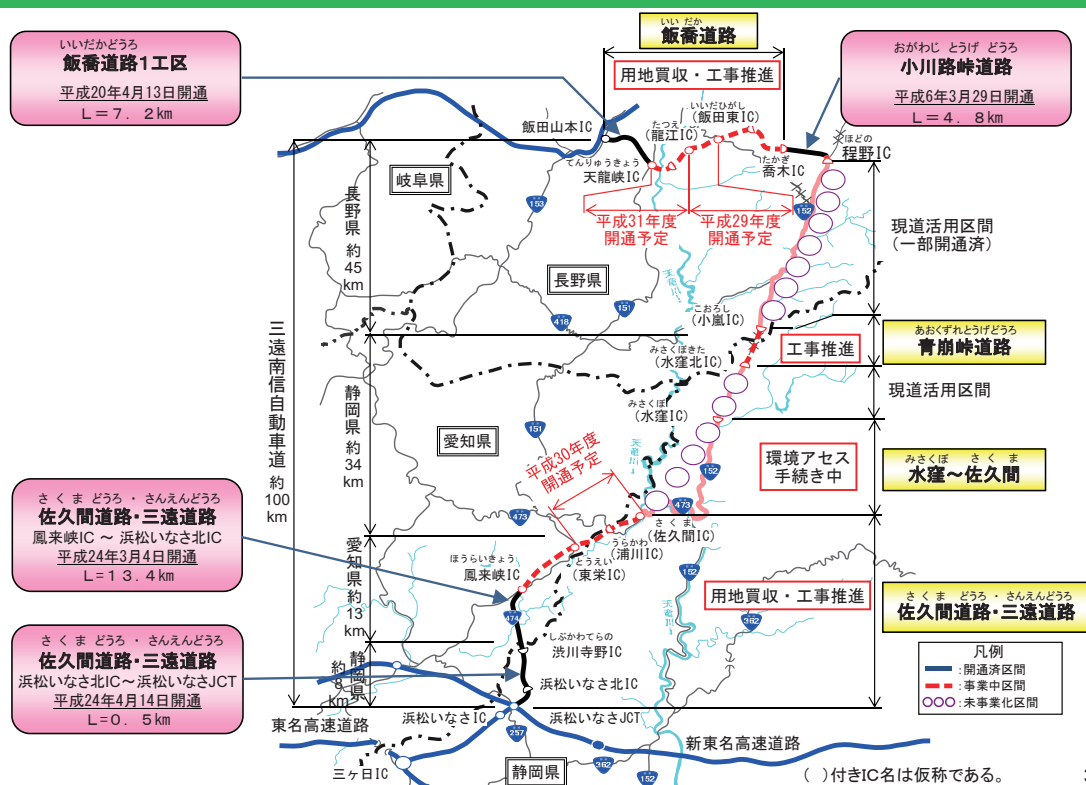
第24回三遠南信サミット2017in南信州
「道」分科会

交通ネットワークを生かしたまちづくり

平成29年2月15日

国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所
事務所長 中平 浩文

三遠南信自動車道全体の事業進捗状況



3

飯橋道路の事業進捗状況

- 天龍峡IC～龍江IC(仮称)間について、道路建設工事や天龍峡大橋(仮称)の上部工事を実施します。
- 龍江IC(仮称)～飯田東IC(仮称)について、平成29年度の開通を目標に橋梁上部工事等を実施します。
- 飯田東IC(仮称)～喬木IC間について、用地買収や道路建設工事を実施します。



① 天龍峡大橋(仮称)の橋梁上部工事



② 龍江IC周辺の橋梁工事

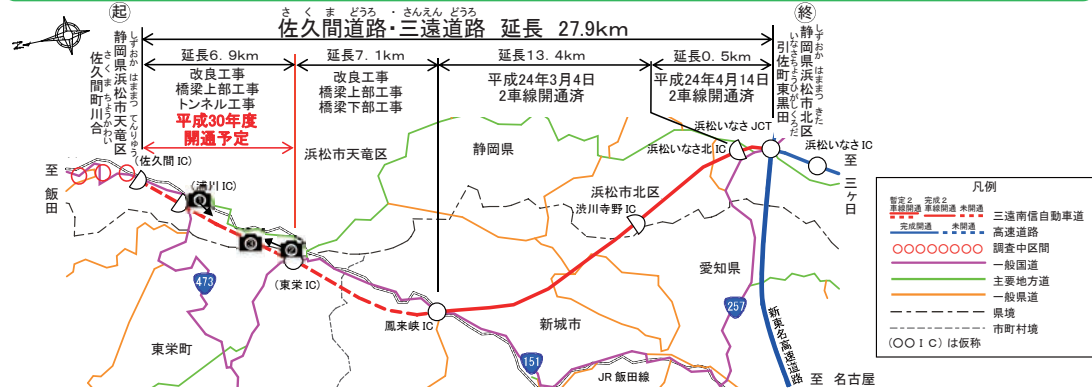


③ 飯田東IC周辺の橋梁上部工事

4

佐久間道路・三遠道路の事業進捗状況

- 佐久間IC(仮称)～東栄IC(仮称)間について、平成30年度の開通を目標に工事を実施します。
 ○東栄IC(仮称)～鳳来峡IC間について、用地買収や橋梁上部工事及び橋梁下部工事等を実施します。



H28.10月撮影
おおちせ がわ
大干瀬川橋(仮称)



H28.10月撮影
佐久間第1トンネル(仮称)東栄側坑口



H28.10月撮影
通り初めの儀(両県小学生合同による万歳) 7

期待される効果① 三遠南信地域における広域ネットワークの構築

- 県境付近では高速ICアクセス30分カバー圏域に達していない
 ○三遠南信自動車道の整備により、**奥三河・北遠地域、下伊那地域のIC30分カバー圏域の人口割合は、大幅に増加し、飯田市、浜松市などの都市部との速達性が向上**

■高速IC30分圏域の拡大

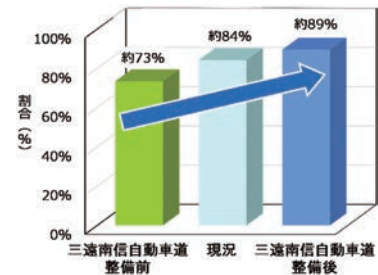


※ 北 遠 地 域: 浜松市天竜区(佐久間町、水窪町)
 奥三河地域: 東栄町、取巻町、豊根村
 下伊那地域: 旧下伊那郡上村、南信濃村、松川町、高森町、阿南町、清内路村、阿智村、浪合村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

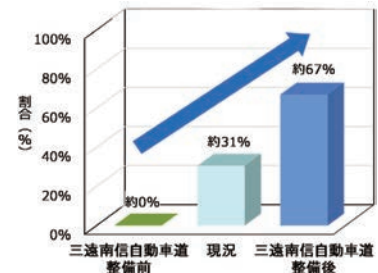
出典:平成22年国勢調査、平成26年度民間フローデータ

■高速IC30分圏人口カバー率

【下伊那地域】

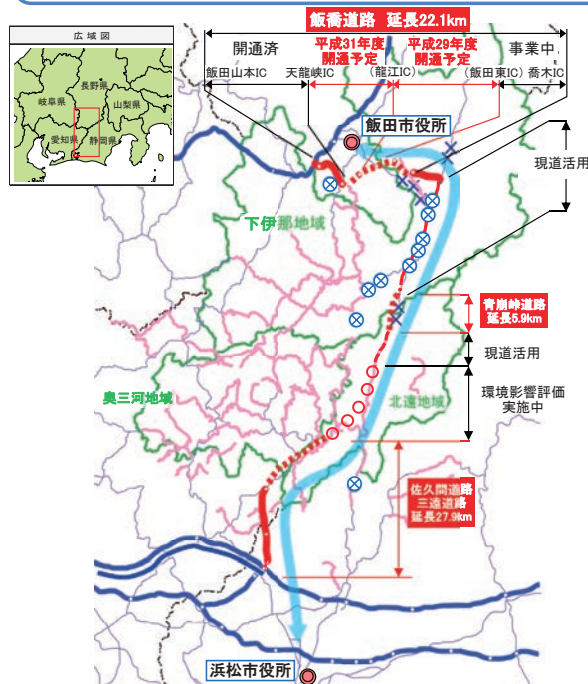


【北遠・奥三河地域】



期待される効果② 災害に強い地域ネットワークの構築

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路がない
- 三遠南信自動車道の整備により、**地域間を結ぶ交通軸が形成**され、災害に強い道路の整備により、**広域防災ネットワークが構築**



<並行現道の事前通行規制頻度及び被災状況>

- H27.4に県道上飯田線喬木村氏乗付にて、**法面崩壊**が発生。
- H22.7に国道418号天龍村折立付近にて、**路肩決壊**により通行止め。(7ヶ月間片側交互通行規制)



県道上飯田線喬木村氏乗付近 (H27.4)



国道418号(長野県天龍村折立付近) (H22.7)

三遠南信自動車道	高速道路
開通済	一般国道
事業中	通行不能区間
環境影響評価実施中	事前通行規制区間
現道活用区間	災害等による通行止め箇所
開通済	(H22.7豪雨災害時)
事業中	

9

期待される効果③ 名勝地天龍峡のまちづくり支援

- 飯田市では、平成24年に天龍峡地域のまちづくりを考慮した「名勝天龍峡整備計画」を策定し、名勝天龍峡周辺の風景を**歩いて楽しめる遊歩道**を随時整備
- 天龍峡大橋(仮称)には、名勝地天龍峡を見おろし、**四季折々の風景が楽しめるパノラマビュースポット**として添架歩廊を計画しており、**さらなる天龍峡周辺への来訪者増加が期待**

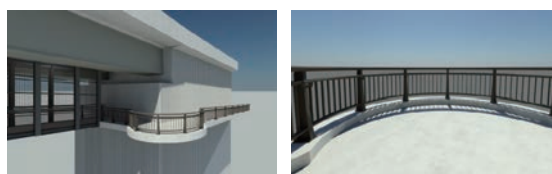
■天龍峡周辺の遊歩道計画



■天龍峡大橋(仮称)



■添架歩廊(地上80mのパノラマビュー)



10

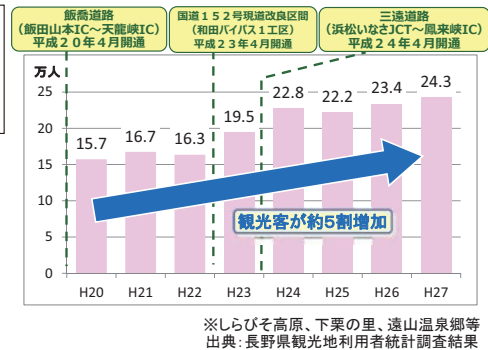
開通効果①（三遠南信自動車道）観光交流の強化により地域が活性化

- 三遠南信自動車道の一部開通に伴い、**遠山郷周辺へのアクセス性が向上**
- H20～H27の8年間で遠山郷周辺の**観光客数が約5割増加**
- 三遠南信自動車道の全線整備により、**より一層の観光交流の促進が期待**

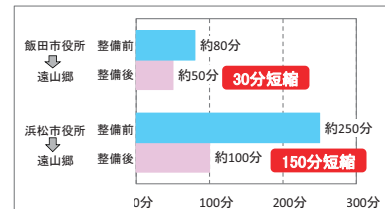
■三河地域や遠州地域との観光交流の促進



■遠山郷周辺の観光入込客数の推移



■遠山郷から飯田・浜松市役所までの所要時間

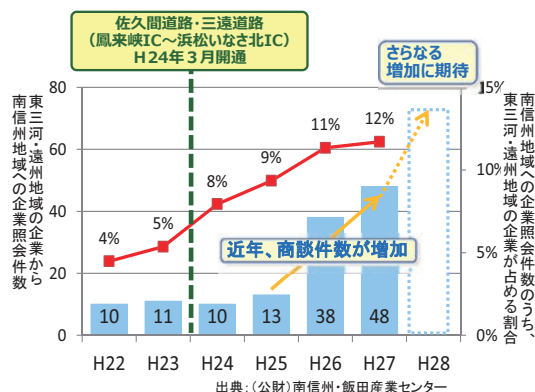


11

開通効果②（三遠南信自動車道）地域間連携の強化による航空機関連産業を支援

- 東三河・遠州地域⇄南信州地域との**企業取引は増加傾向**
- 飯田・浜松・豊橋の連携が三遠南信道により強化され、**航空機関連産業を支援**

■東三河・遠州地域の企業から南信州地域への企業照会の実績



■アジア最大の航空宇宙産業クラスターの形成



出典: 経済産業省 中部経済産業局(H26管内生産動態統計)

12

開通効果③（飯喬道路）生産性向上による成長力の強化

- 飯田市川路地区にある天龍峡エコバレーファクトリー川路地区では、**三遠南信自動車道の開通により新たな企業が進出**
- 三遠南信自動車道の開通により、**さらに企業進出や発展に期待**

■天龍峡エコバレーファクトリー川路地区

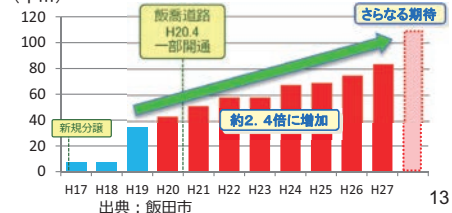


■産業団地への新規企業進出（H27.4.21）



企業の声（株）丸中根園
 ・三遠南信自動車道の開通を機に、新しい観光の流れに変わるかと 考え入居を決定しました。
 ・農業レストランの営業展開として
 浜松等中京圏からの集客を期待しています。

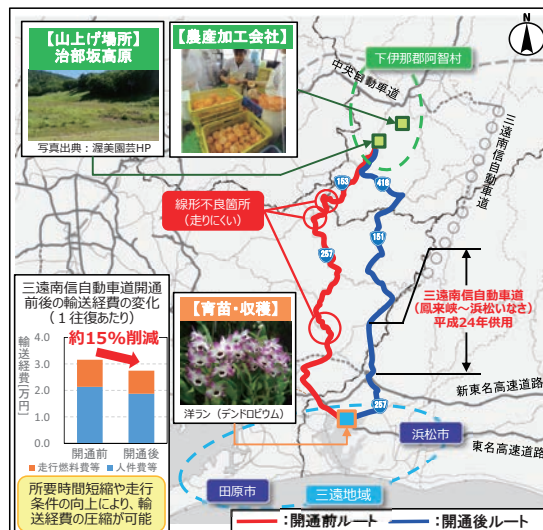
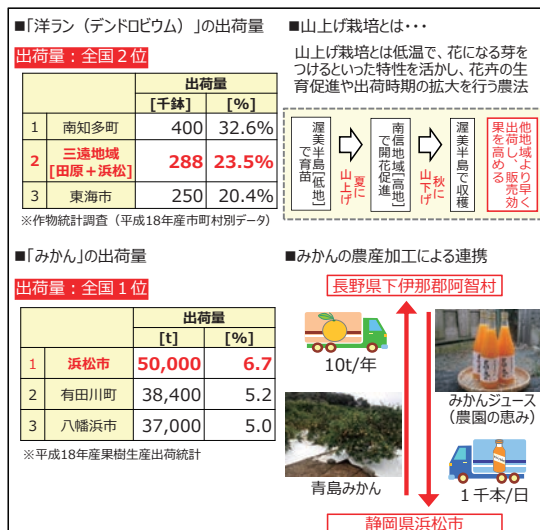
■天龍峡エコバレーファクトリー川路地区の分譲済面積（千㎡）



開通効果④（佐久間道路・三遠道路）農業連携の強化

- 三遠地域（田原市・浜松市）は洋ラン（デンドロビウム）の出荷量が全国2位。夏の高温時期に標高の高い寒冷地に苗を移して開花を促進し、再び低地に移して収穫する「山上げ栽培」を実施
- 浜松市は「みかん」の出荷量が全国1位。浜松市で生産した「みかん」を長野県下伊那郡阿智村に輸送し、農産加工（ジュース）しており、**三遠南信自動車道が効率的な輸送を支援**
- 三遠南信自動車道の全線開通により、更なる**輸送の効率化、線形不良箇所の走行改善による円滑な輸送が実現**

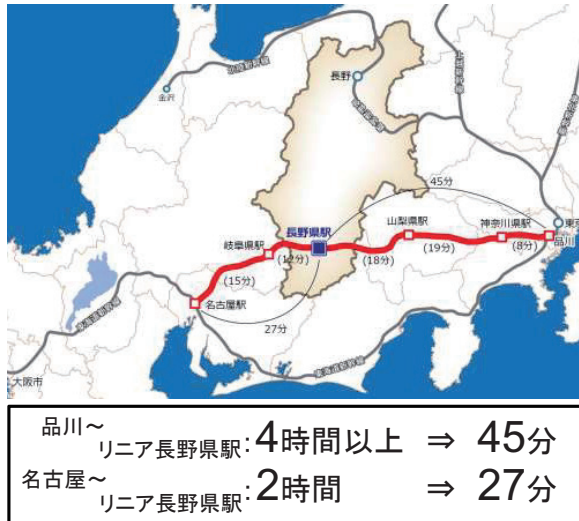
■三遠南信道（浜松いなさJCT～鳳来峡IC）開通に伴う農業連携の強化



リニア中央新幹線開業による交流人口へのインパクト

- リニア中央新幹線開業により、南信地域と大都市圏との**アクセスが格段に上昇**
- リニア長野県駅利用者数は年間約250万人の見通し。開業効果をさらに高めるためには、**リニア駅との時間圏を拡大する道路整備が必要**

■リニア中央新幹線開業による時間変化



■リニア長野県駅の位置



15

アクセス強化と交流人口の関係

- リニア開業及び三遠南信道整備は、大都市と三遠南信地域間における**速達性や信頼性などのアクセスを強化**
- この「アクセス強化」と「地域の取り組み」は、**交流人口の増加**を促し、三遠南信地域への**観光消費額をより大きく**する

■アクセスの主要要素

はやくいける	⇒速達性
いつでもいける	⇒信頼性
快適にいける	⇒快適性
楽しいける	⇒娯楽性
わかりやすい	⇒平易性

■アクセス強化による観光消費額への影響

		観光資源	
		魅力的	現状
アクセス	強化	より大きい観光消費額を目指す ◎(大)	△(小)
	現状	○(中)	変化なし or停滞

リニア開業
三遠南信道整備

- 三遠南信道の整備が地域に与える影響
- ①大都市と三遠南信地域のアクセス強化
 - ②魅力を高める地域の取り組み(地域連携)の促進

交流人口増加 → 観光消費額増加

16

アクセス強化により交流人口が伸びた事例

- 北陸新幹線金沢駅開業(H27.3)により、大都市と直接結ばれた金沢では観光客数が対前年比で約1.5倍に増加
- 金沢から約1時間離れた世界遺産白川郷のある白川村の観光客数は、バス路線の増強などアクセス強化により、約1割増加。(東海北陸道全通時も増加)

■北陸新幹線開業による交流人口増加の事例

兼六園 197万人⇒289万人 約1.5倍増加 白川村の観光客数の推移



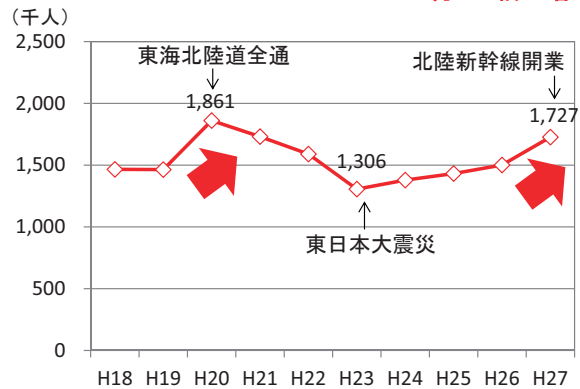
白川郷 約1割増加(対前年比)



写真提供 岐阜県白川村役場

H7年12月: 白川郷合掌造り集落世界遺産登録

H7(77.1万人)⇒H8(101.9万人) 約1.3倍に増加



出典: 白川村「観光統計」

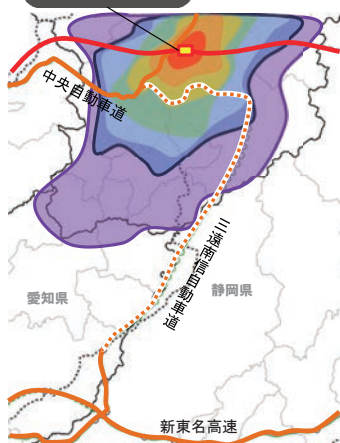
17

リニア駅勢圏を拡大する三遠南信自動車道

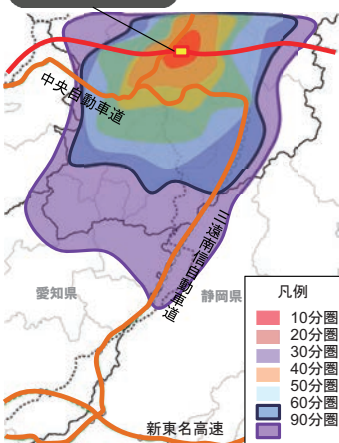
- 三遠南信道がある場合、沿線地域を中心にリニア駅のアクセス時間が短縮
- リニアを利用した観光客を三遠南信地域に呼び込むためには、アクセス利便性を高め、リニア駅勢圏を拡大する道路ネットワークが必要

■三遠南信道有無別リニア長野県駅の時間圏

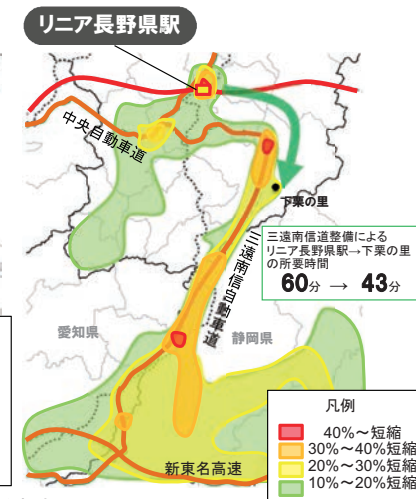
三遠南信道等がない場合
リニア長野県駅



三遠南信道等がある場合
リニア長野県駅



三遠南信道等がある場合は、将来道路網を想定。

■三遠南信道等整備による
リニア長野県駅までの時間短縮率

18

三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針1：中部圏の中核となる地域基盤の形成

① 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現

三遠南信 250 万流域都市圏の骨格を形成し、三遠南信地域を太平洋地域と日本海地域を結び日本の中央回廊とするために、三遠南信自動車道の整備促進を働きかけるとともに三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けた取り組みを推進します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信自動車道の高規格幹線道路としての全線にわたる早期整備を目指します。特に、(仮)青崩峠道路の早期開通を強く働きかけます。
- ・ 三遠伊勢連絡道路(伊勢湾口道路)構想の実現に向けて関係機関へ積極的に働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国への要望などの活動を進めます。

② 三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実

国際的に競争力のある産業を有する三遠南信地域の国際ネットワークを保持・強化するために、三遠南信地域の国際ゲートウェイとして、三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備、高速道路へのアクセス路の整備を促進することによって、世界に直結した(シームレス)ネットワークを形成します。

【活動イメージ】

- ・ 港湾、空港と高速道路が一体として機能できるように優先的整備を進めるため、国・県等の関係機関に働きかけるとともに、その積極的な利用に努めます。
- ・ 三河港は、世界的な自動車港湾としての機能を充実するとともに、コンテナ物流の機能を強化します。また、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路構想の実現など、高速道路へのアクセス強化、後背地と港湾を結ぶ国道23号バイパスの整備促進を働きかけます。
- ・ 御前崎港は、地域の物流拠点としての機能強化を図るとともに、国道150号や金谷御前崎連絡道路の整備を進めます。
- ・ 中部国際空港及び富士山静岡空港においては、就航本数や国内外定期便の増大など利便性の向上に向けた要望を行うとともに、交通アクセスの向上により地域の回遊性などを高め、観光客、航空貨物等の受け入れ態勢を整えます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって国への要望などの活動を進めます。

③ リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置

リニア中央新幹線が整備されることで、首都圏や近畿圏から三遠南信地域への北のゲートウェイとして飛躍的にアクセスが向上し、経済効果も期待されます。内陸部における発展を促進する新たな国土の大動脈として、安全・安心かつ大量高速輸送機関であるリニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置を促進します。

【活動イメージ】

- ・ リニア中央新幹線の早期実現に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画から整備計画への格上げを働きかけます。
- ・ 新しく策定される国土形成計画に、科学技術創造立国に相応しいリニア中央新幹線の整備を明確に位置づけるように働きかけます。
- ・ 関係機関と連携、協力し、建設促進の運動や要請活動、調査等を行うとともに、飯田駅実現に向けた運動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、国等への要望などの活動を進めます。

④ 豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進

浜名湖を境として豊橋、浜松に分割されている都市集積を一体化することで、東海道における150万人広域都市を形成し、三遠南信地域の発展を牽引する都市集積を高めます。このため、三遠都市帯において豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 東名高速道路、国道1号・23号バイパス、国道151号、国道152号バイパス、(仮)浜松三ヶ日・豊橋道路を結び合わせることで、豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備を促進します。
- ・ 東名高速道路部分については、第二東名高速道路に長距離交通が転換すると考えられ、スマートインターなどを活用して、利用を促進します。
- ・ 豊橋・浜松環状道路を取り巻く地域に対して、県境を越えた広域的な視点（広域調整）により都市構造やインフラなどの資本ストックを有機的に結び付けた基盤整備を進めます。特に広域都市の中心部に位置し、交流や居住など多様な可能性を有する浜名湖ゾーンの活用を図ります。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、整備方針を検討します。

⑤ 県境を越えるマスコミの連携

三遠南信地域のマスコミ機能は、必ずしも一体化されておらず、生活情報等が分断される傾向にあります。住民や企業が県境を越える情報の共有化を進め、交流や企業連携を促進するために、県境を越えるマスコミの連携を促進します。

【活動イメージ】

- 三遠南信地域内の情報連携の基盤として、各マスコミの連携に向けた意見交換を促進します。
- 県境近接地域での、医療情報等の生活情報の連携を働きかけます。
- 「三遠南信版」の紙面確保や共同ポータルサイトの可能性検討、情報交換を働きかけます。
- 県境を越えるCATVの番組流通や、県境隣接地域での他県の民間テレビ電波の受信の緩和を働きかけます。

【推進主体とその活動】

- マスコミ各社と、自治体、商工会議所・商工会、市民団体などと意見交換を行い、連携活動を検討します。



分科会

資 料

地域産業のプラットフォームを目指して

- ・自然豊かな文化経済自立都市
- ・西に中央アルプス・東に南アルプス
- ・天竜川によって造られた河岸段丘



飯田・下伊那

多様な主体によるまちづくり

街のシンボル
りんご並木

市田柿

伝統産業

多様なものづくりの集積地

シチズン時計
マニファクチャリング

夏目光学

エアロスペース飯田

多摩川精機

人形劇のまち

三菱電機飯田工場

オムロンオートモーティブ
エレクトロニクス

地域を支える産業



3

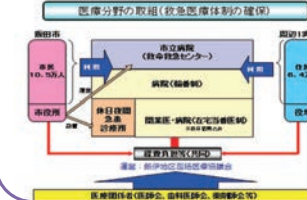
南信州定住自立圏

構成市町村	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村				
中心市宣言日	平成21年3月24日	協定締結日	平成21年7月14日	ビジョン策定日	平成21年12月24日

生活機能の強化

<救急医療体制の確保>

圏域の救急医療体制を確保するため、休日夜間当番制について支援を行う。



<産科医療体制の確保>

圏域の産科医療体制を確保するため、産科問題懇談会(市、町及び村、圏域の医療関係者等で構成)を中心に、セミオープンシステム及び共通カルテの運用など、地域の医療機関と連携した取組を行う。

若者達が定着し、多彩な「人財」が将来にわたり往來する活気にあふれ美しく心が響き合い安心して暮らすことができる「南信州定住自立圏」

<産業センター等の運営等>

圏域の産業の中核的な支援機関である公益財団法人南信州・飯田産業センターの施設及び人員を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指す。

<地域公共交通ネットワークの構築>

南信州地域公共交通総合連携計画に基づき、圏域における公共交通の課題について継続的に調査し、及び検証するとともに、JR飯田線の活用を踏まえたバス路線等の効果的かつ効率的な運行について総合的な調整を行い、圏域内の公共交通ネットワークの構築に取り組む。



結びつきやネットワークの強化

<地域情報共有システムの構築>

行政、各種団体等が情報を受発信し、圏域住民が各種地域情報を容易に入手できる地域コミュニティサイト及びケーブルテレビによるデータ放送を配信するシステム(データ放送システム)を構築し、及び運営する。



<人材育成等>

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力を強化するため、合同研修、圏域外の専門家の招へい等を行う。



圏域マネジメント能力の強化

4



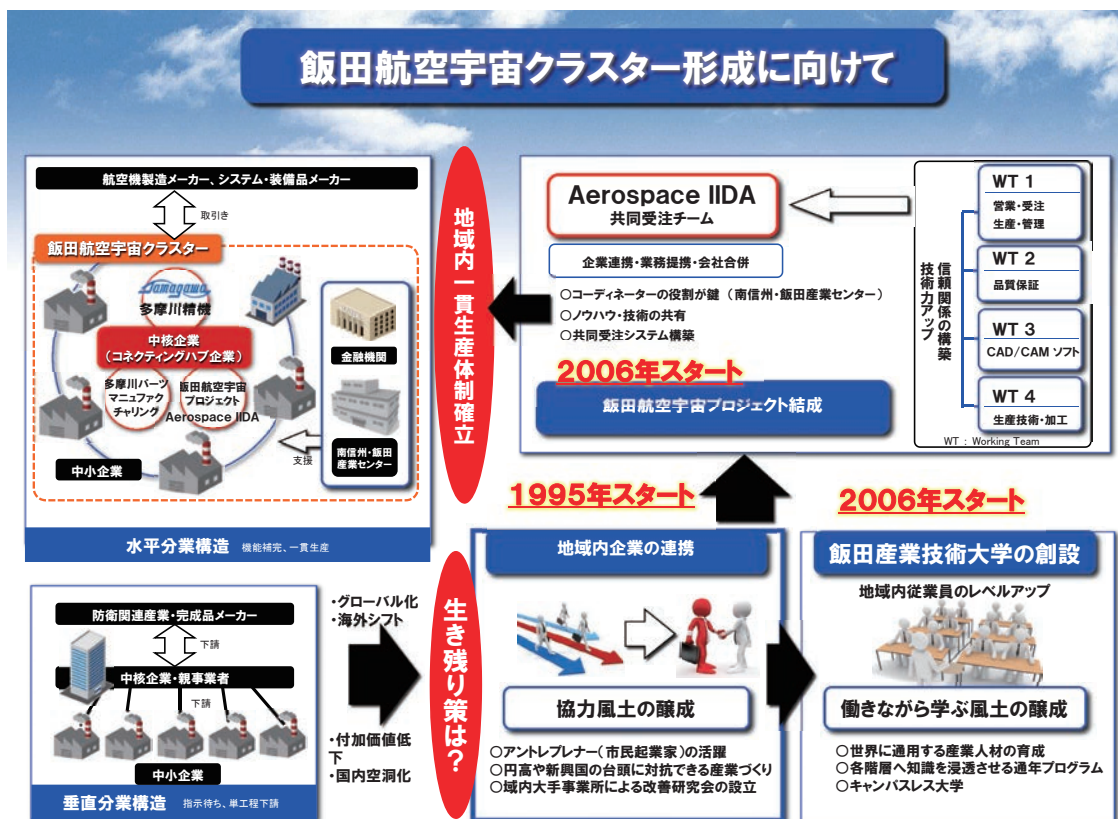
南信州・飯田産業センターの概要

- ◆法人設立 昭和58年7月29日
- ◆理事長 牧野光朗(飯田市長)
- ◆出捐金 17,000千円

長野県	5,000千円	飯田市	5,000千円	下伊那郡	2,000千円
飯田商工会議所	3,500千円	下伊那商工連	500千円	業界23団体	1,000千円
- ◆施設概要
 - 敷地面積12,413㎡
 - 建物 鉄筋一部鉄骨コンクリート造2階建て 建築面積 1,886.73㎡ 延べ面積2,537.32㎡
- ◆施設完成 昭和59年8月29日
- ◆建設費 509,100千円
- ◆財源
 - 地場産業振興対策事業(国・県補助) 228,002千円
 - 市町村負担金41,396千円
 - 業界負担金41,396千円
 - 中小企業高度化資金198,400千円(返済は市町村、業界負担金)
- ◆事業
 - (1)新製品又は新技術開発の研究支援 (2)デザイン開発又はブランド化支援
 - (3)地場産品普及のための展示、販売、実演等の支援 (4)人材育成のための教育研修及び実習
 - (5)経営相談、技術相談及び指導 (6)情報の収集及び提供
 - (7)産業技術に関する試験、検査、分析、評価、証明書等の発行及び技術的支援
 - (8)産業センターの管理運営 (9)工業技術センター及び飯田EMCセンターの管理運営
 - (10)ビジネスネットワーク支援センターの運営 (11)航空宇宙産業クラスター拠点施設の管理運営



5



6

航空宇宙産業クラスター拠点工場

目的

航空宇宙産業における特殊工程技術(熱処理、表面処理、非破壊検査)機能を有する「航空宇宙産業クラスター拠点工場」を整備することにより、地域内で実施可能な工程幅を広げ、地域内一貫生産体制を確立する。



熱処理工場棟

熱処理工場棟:平成26年3月 竣工
表面処理工場棟:平成26年9月 竣工

入居企業

熱処理:多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社
表面処理:多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社
非破壊検査:多摩川パーツマニュファクチャリング株式会社
営業:エアロスペース飯田



事業費

- ・総事業費:547,966千円
 - 熱処理工場棟工事:325,973千円
 - 表面処理工場棟工事:221,933千円
- ・資金調達
 - 国庫補助金:211,692千円

(経済産業省「地域企業立地促進等共用施設整備費補助金(H24・H25)」)

県補助金:50,000千円

(長野県「航空宇宙産業育成強化支援事業補助金(H25・H26)」)

市補助金:30,000千円

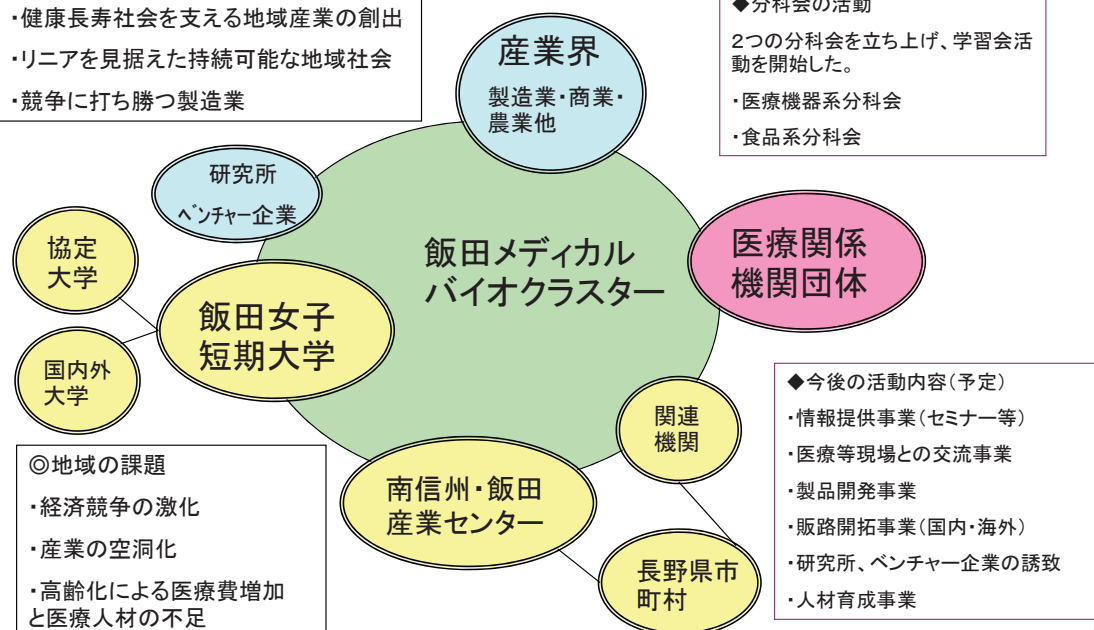
(飯田市「航空宇宙産業クラスター拠点整備事業負担金(H25)」)

7

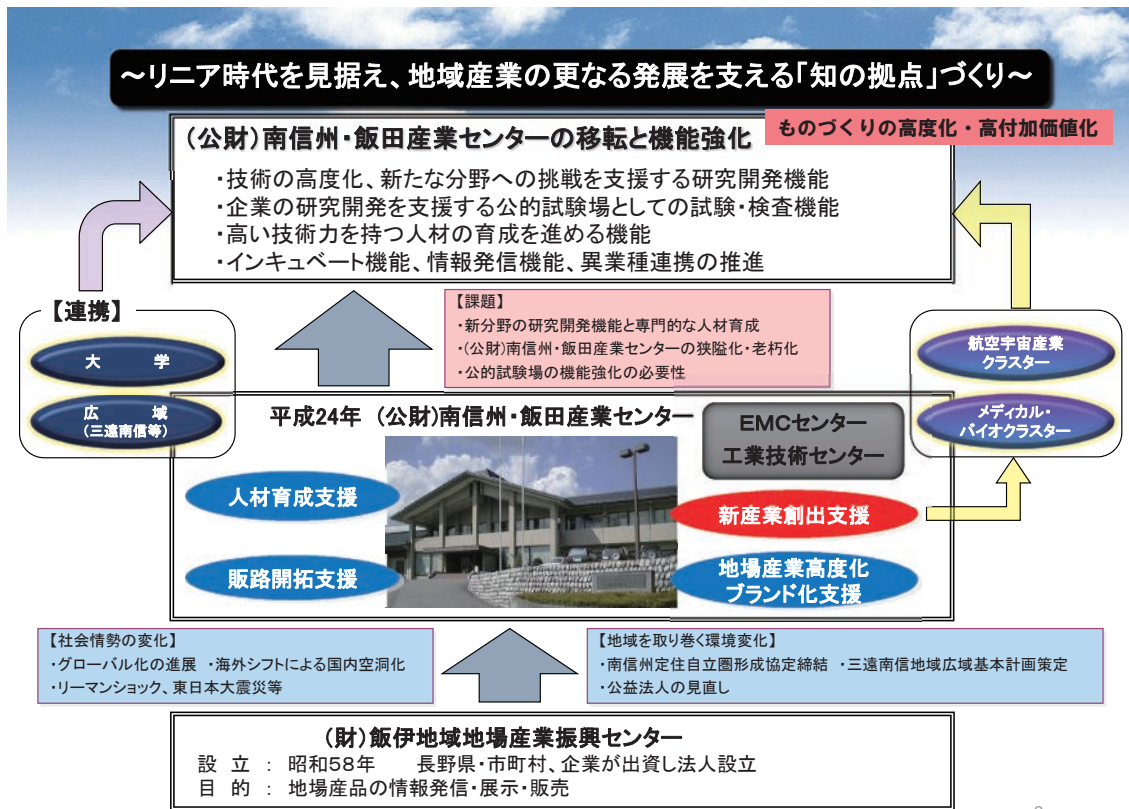
飯田メディカルバイオクラスター構想

◎目指す将来像

- ・健康長寿社会を支える地域産業の創出
- ・リニアを見据えた持続可能な地域社会
- ・競争に打ち勝つ製造業



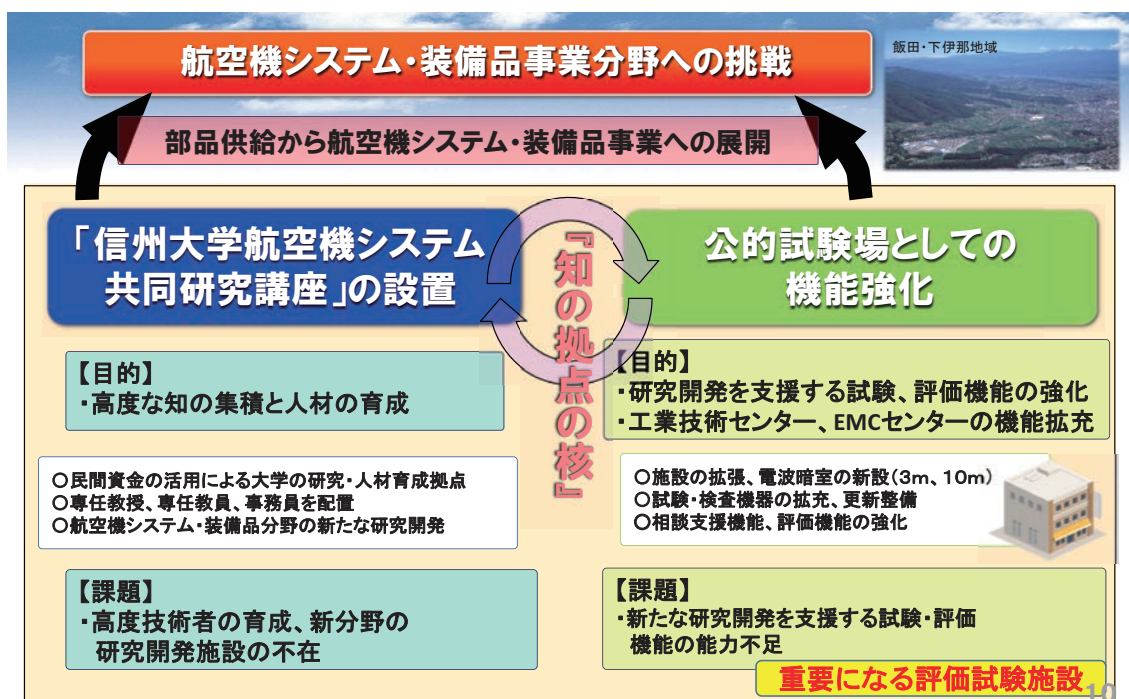
8



9

産業振興に寄与する『知の拠点』の核の形成

地域内外に門戸を開いた産業振興インフラを整備。人材、技術、企業を呼び込む。



【旧飯田工業高等学校の施設】



○所在地：飯田市座光寺3349-1

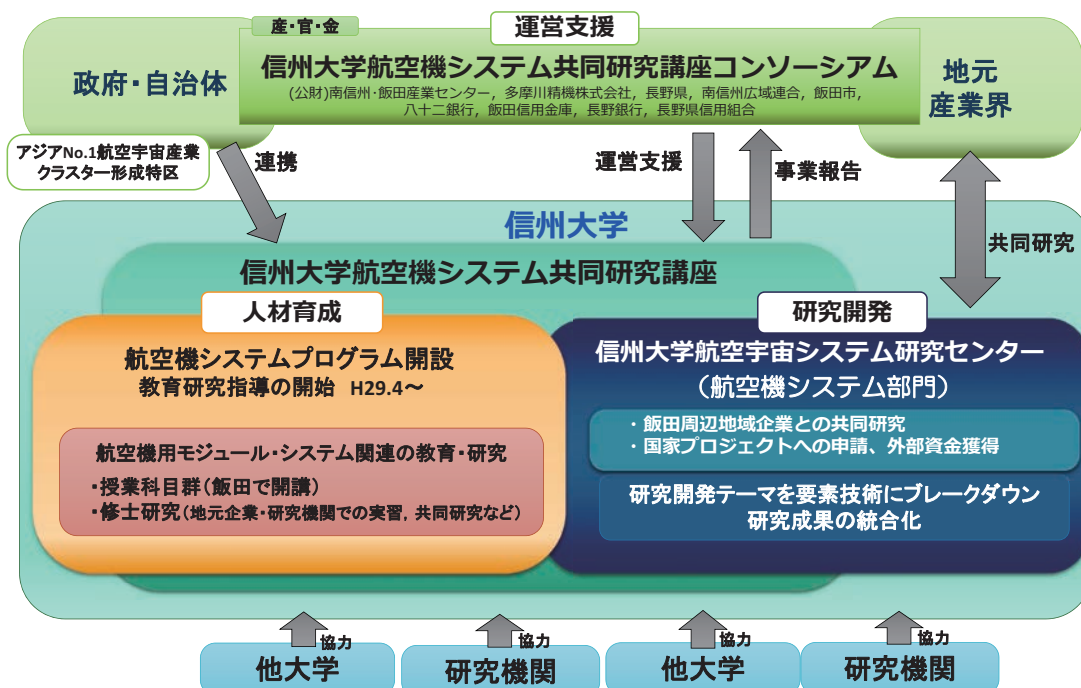
○施設竣工：平成元年

○土地：29筆 46,705.47㎡

○建物：14棟 14,489.36㎡

11

飯田航空機システム共同研究講座と 航空宇宙システム研究センター航空機システム部門との連携



12

信州大学航空機システム共同研究講座の年次計画

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
教育	航空機システム・装備品事業分野の高度技術者の育成					
	飯田市で実施 特別の課程 「電気機器関連制御技術」 スキルアップコース		再編	南信州・飯田サテライトキャンパスを利用した社会人向け講座 特別の課程(短期プログラム:1年) スキルアップコースプログラムの実施		
	信州大学航空機システム共同研究講座 コンソーシアム設立	拠点整備		航空機システムプログラムの実施		
				南信州・飯田サテライトキャンパスでの教育・研究指導 長野(工学)キャンパスとの遠隔講義受講		
研究	南信州・飯田地域を中心とした航空機産業開発拠点の形成					
地域連携	地域企業との共同研究、国家プロジェクトへの参画					
	連携市町村・関連企業・研究機関とのネットワークの強化					
	共同セミナー・ワークショップ・シンポジウム等の開催					

13

ご清聴ありがとうございました。



三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- ・ 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。
また、地域金融機関のサミットを開催します。
- ・ 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- ・ 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

【推進主体とその活動】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

【活動イメージ】

- ・ 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- ・ 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- ・ 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- ・ 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- ・ 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

【活動イメージ】

- ・ 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- ・ 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- ・ 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- ・ 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- ・ 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- ・ 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

【推進主体とその活動】

- ・ 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。



分科会

資 料

資料は別冊



政策の基本方針 3：塩の道エコミュージアムの形成

①「塩の道」風景街道の体制づくり

三遠南信地域は、歴史的に形成された南北の「塩の道」に沿って形作られており、自然・歴史・文化・産物など地域特有の資源を守り、掘り起こし、磨きあげ、往来の物語を構築します。このために、「塩の道」風景街道の体制づくりを進めます。

【活動イメージ】

- ・ 国土交通省の「日本風景街道」に登録し、具体的な連携活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の風景価値を高めるための地域連携・発信活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の地域資源を掘り起こし、磨き、活かす活動に取り組みます。
- ・ 三遠南信「塩の道」風景街道の自然、歴史、伝統文化、暮らしを学び、伝える活動に取り組みます。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信地域内の市民団体等を中心に、事業内容を検討します。

② 地域資源を活かす鉄道の有効利用

塩の道エコミュージアムの形成を支援する鉄道の観光活用を進めます。

【活動イメージ】

- ・ 鉄道事業者と連携を取りながら、地域内を結ぶ鉄道と観光資源のネットワーク化を検討します。
- ・ JR東海道線の増便などの鉄道の利便性を向上させます。
- ・ JR飯田線、天竜浜名湖線の観光利用を地域運動として促進することを検討します。
- ・ 豊橋市の路面電車、佐久間レールパーク等鉄道資源を利用したイベントの開催を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 鉄道事業者、自治体、商工会議所・商工会等が中心となって、事業内容を検討します。

③ 海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進

三遠南信地域の観光資源は、山から海までの自然資源、歴史、産業観光など多様であり、交通の利便性も高いことから、一地域での周遊性を期待する訪日外国人観光に適しています。このため、海外への観光情報発信と外国人観光客誘致を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 海外で開催される国際旅行博覧会等に参加し、三遠南信地域の観光PRをするため、外国語広域観光マップ等を活用して観光情報発信を進めます。
- ・ 複数の外国語で閲覧できる三遠南信観光ポータルサイト（インターネットホームページ）を作成します。
- ・ 地域の観光関連事業者と連携して、外国人観光客を対象とした三遠南信地域を巡る観光モデルツアーの商品化を検討します。
- ・ 海外へ三遠南信観光プロモーション団を派遣します。
- ・ 富士山静岡空港、中部国際空港への国際定期便の増便、路線増設、国際チャーター便の運行を航空会社、空港会社、国・県、旅行会社等へ働きかけます。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、観光関連事業者、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会等が連携して、事業を促進します。

④ 三遠南信アンテナショップの開設

三遠南信地域の地域固有の商品・サービスを広く圏域内外にアピールし、新たな販路を広げるため、特産品販売の場づくりとして、三遠南信アンテナショップを開設します。

【活動イメージ】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市等の拠点都市の中心市街地等へ、三遠南信地域の特産品の展示・販売、観光情報、地域情報の発信等を行うアンテナショップ（仮称：三遠南信ふれあいショップ）の開設を検討します。
- ・ 大都市部（東京、名古屋、大阪等）での三遠南信アンテナショップの開設を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所・商工会、観光協会、農林水産団体等が中心となって、事業内容を検討します。



資 料



いも兄(村澤 雄大)

- ・ 協力隊の任期 2013年 7月～2016年6月末まで
- ・ 出身 飯田市
- ・ 年齢 29歳

わらじの数

1. シェアハウス兼ゲストハウス「満月屋」
2. ラフティングガイド
3. 大学TA
4. なんでもアルバイト



CM大賞のムービー3分

協力隊だけど・・・

協力してもらってることの方が多い

協力してもらえることの方が大切なのは？



中井侍には侍おるんじゃー！プロジェクト！



侍プロジェクトの内容

1. 2番茶の時期にやるお茶摘みツアー
2. 緑茶カフェ 茶むらい OPEN
3. お茶の新パッケージ制作 販売



やすお侍

(お茶工場工場長)



正直、初めはうっとうしかった・・・

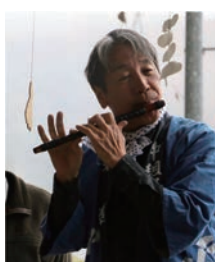
みんな達が一生懸命やるもので・・・
しょうがないもので手伝うしかなかったわ

茶むらい 銀座NAGANOへ！

9月23日



侍もフェス！ 11月19日



TSUMEMOGAKI(ツメモガキ)



大和言葉で ラストスパート

- 1、中井侍 侍おるんじゃープロジェクト！
- 2、満島ホテル活用計画
- 3、2年生と作る幻の大豆プロジェクト



- 1号隊員 内藤有香
- V3 村澤雄大



三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)

政策の基本方針 4：中山間地域を活かす流域モデルの形成



①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進

地域環境の持続性を確保するために、流域圏の「健全な水・物質循環」の視点から、水資源確保、水質改善、物質循環のメカニズム解明を進めながら、複数のプロジェクトを共同化することで関係機関の相互調整を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 「健全な水循環」に係る産・学・官・民による情報共有・情報交換ができる場づくりを進めます。
- ・ 産・学・官・民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトを推進します（遠州灘海岸の侵食防止、天竜川ダム再編事業、設楽ダム建設事業、浜名湖・三河湾の水質浄化活動、住民参加型の水質浄化に関する行動計画づくり等）。

【推進主体とその活動】

- ・ 国、県の協力の下に、市町村が中心となって活動促進を働きかけます。

② 上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備

下流域都市住民の中山間地域への居住に対する関心を喚起することで、上流域への人口流入を図るとともに、流域圏の多様性を活用することによって三遠南信地域の定住の魅力を増大させます。このために、上流域と下流域の自治体が連携して流域定住の検討体制を構築します。

【活動イメージ】

- ・ 受け入れ地区住民の意識調査等を行い、空き家、貸し家、遊休施設等の施設利用情報のデータベース化に取り組みます。
- ・ 流域定住や二地域居住を進めるための総合的な相談窓口の設置、居住体験が行える施設の整備、生活に関連した情報を円滑に提供できる仕組みづくりを進めます。
- ・ 長期滞在者向けの旅館利用や滞在施設（廃校、旧役場、空き家等）の整備を検討します。
- ・ 空き家、貸し家、遊休施設等の仲介を不動産会社等の民間企業に働きかけます。
- ・ 耕作放棄地や遊休施設に関心を持つ企業への施設・用地紹介や情報提供に取り組みます。
- ・ 遊休施設を社員保養施設として利用したい企業への支援を検討します。

【推進主体とその活動】

- ・ 上下流域自治体による検討体制を設けます。

政策の基本方針 5：広域連携による安全・安心な地域の形成

① 医療分野の県境を越える連携の促進

住民生活の安心を確保するために、最も基本となる地域医療体制を、県境を越えて整備します。

【活動イメージ】

- 公立病院を中心とした医療施設の広域利用を進めます。
- 医科大学と三遠南信地域自治体との連携を促進します。
- 県境近接地域で、休日診療、夜間診療の連携が取れていないため、隣接県の医療施設の情報発信、医療施設利用の連携を進めます。
- ドクターヘリの県境を越えた活動を支えるため、中山間地域での中継基地（燃料補給等）設置を検討します。
- 情報通信技術を活用した遠隔地医療診断を検討します。

【推進主体とその活動】

- 自治体が中心となって、具体的な検討、関係機関への働きかけを進めます。

② 三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進

三遠南信地域住民に対する行政サービスの向上と施設の有効活用を図るために、公共施設情報の連携や公共施設の広域的な利用を促進します。

【活動イメージ】

- 公共施設の県境を越えた利用を促進するポータルサイトの構築を検討します。
- 公共施設の三遠南信地域内住民に対する利用制限を撤廃するとともに、自地域住民並の利用料金の設定を検討します。

【推進主体とその活動】

- 自治体が中心となって、事業を推進します。

③ 県境を越える防災体制の強化

東海地震等の大規模災害が想定されることから、地域住民の生命、身体、財産等を災害から守るために、防災に関する関係機関の相互協力を、県境を越えて取り組みます。

【活動イメージ】

- 地域の防災力の向上のため、自主防災組織の充実・連携に取り組みます。
- 「三遠南信災害時相互応援協定」において、災害廃棄物の相互処理など、必要な項目の追加を検討します。
- 広域防災拠点の相互連携を強化するため、港湾機能、道路機能（防災道路、緊急輸送路等）の充実を図ります。

【推進主体とその活動】

- 自治体が中心となって、自主防災組織や自治会等と協力して事業内容を検討します



三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
浜松市中区元城町103-2
浜松市企画調整部企画課内
